



2022年11月1日

## 第134号お知らせ版

### NPO法人 響き合いネットワーク東京SPの会

### NPO Resonate Network Tokyo SP

○10月3日(月)昭和大学医学部で、「高齢者医療コミュニケーション」の実習を14名の模擬患者で行った。



高齢者コミュニケーションでした。女性は八百屋のおばさん・男性は元大工さんと役作りしながらの参加です。

○10月8日(土)聖マリ医科大学のOSCEに12名参加しました。



模擬患者からの意見。評価機構からの医師による評価をいただきました。とても勉強になります。

○10月11日(金)昭和大学高齢者コミュニケーション参加

=高齢者コミュニケーション演習=

テーマ「在宅患者の想いを知る」に参加して

佐野和三

その日は寒暖差の体感とともに、紅葉前線のニュースが巷に流れる10月の穏やかな日であった。医学部教育棟に向かう足取りは“どのような学生に会えるかな？”“シナリオ通りに行くかな？”等々の思いを巡らせキャンパスに入った。

今回は高齢者コミュニケーション演習「在宅患者の想いを知る」の高齢者模擬患者(SP)です、シナリオは在宅患者設定「妻に先立たれ途方に暮れる在宅要介護老人72歳」。元大工の棟梁(職人)役なので、ベテランSPさんは「手ぬぐい」首掛けスタイルです。佐野はタオルを代用したので一見すると「三助」。何はともあれ医学部3年生の三人グループのロールプレイがスタートした。

先鋒\*は世間話を切り口に、不愛想な元棟梁の孫に会えない寂しい心情に入り込んできた。作戦休憩後、中堅\*は身の回りの事、食事、お風呂、掃除等々に寄り添い傾聴していただいた。大将\*(3人目)は息子、娘、孫への想い・・・妻への謝罪の気持ち・・・「ア～時間が無い」。テーマ「在宅患者の想いを知る」「やるせない心情を引き出せたかな～」の学生の振り返りは、これからの患者対応にプラスの手応えだった。バランスを崩した

脳梗塞 SP に学生がサッと手を・・・○です。

## OSCE 当たり前の投書

**わたしの医見**

### 自ら患者呼ぶ医師

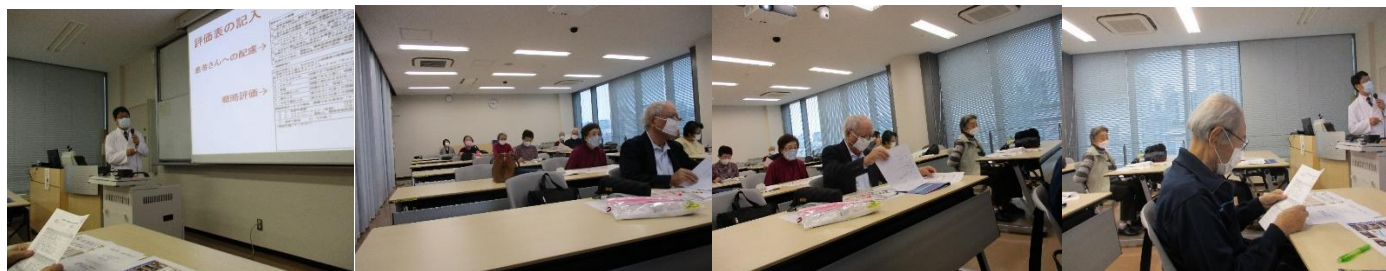
福岡県  
町会議員 女性 65  
約1年前から、月に1度、  
夫の通院に付き添って隣の市  
の内科クリニックへ行く。  
通常、患者が診察室に入る  
際、看護師からの案内で入室  
することが多いのではないかと  
思う。でも、このクリニックでは、  
順番が来ると、院長が自ら待合室に顔を出し、  
名前を呼んでくれる。  
今までいろいろな医院に通ったが、  
こういう医師には初めて出会った。  
患者を大事に思う気持ちが伝わってきた。  
温厚な人柄で、説明も丁寧でわかりやすい。  
これからも付き添いたいと思う。

○10月12日(火)昭和大学で1年生とズームによる医療面接を4つのシナリオで面接しました。



おなかが痛いと訴える患者      頭が痛いと訴える患者      胸が痛いと訴える患者      おなかが痛いですが背中から痛い

○10月14日(金)医科歯科大学のOSCE前の勉強会。金子先生による症例の解説と学生とSPの会話のポイントなど丁寧に指導いただきました。



金子先生の説明にSPは食い入るように聞いています。

○10月18日(火)飯田橋のボラセンターで月例研修会を開催しました。



月例研修会城川学術部長      参加者21名

## 2022年10月月例報告

場所      飯田橋ボラセンター

月日      10月18日(火)

時間 13:00-16:00

13:00-13:20

司会 城川知子 書記 三上 操

理事長挨拶	神永教子
会計報告	神永教子
事務局報告	森 トシ
組織部報告	三上 操
学術部報告	城川知子

復帰される会員阿部由子さん自己紹介  
阿部由子さんの友人見学者1名紹介

13:20-13:40

標準模擬患者と認定されてからの体験談 田澤靖子さん  
評価機構からの依頼で千葉大学の模擬患者との勉強会に行った。  
3回の勉強会があり、その後本番オスキーの試験参加。  
全部リモートで表情も見えずなかなか大変だった。  
勉強会は模擬患者の答えの統一。  
一言一句を覚えこむこと。  
特に主訴を間違えないようにする。  
学生の評価の統一。

13:40 - 14:30

佐野和三さん(学術部会)の講演 「あなたの身体は菌だらけ」  
コロナウイルス、天然痘ウイルス、の話  
手、舌にもたくさんの菌だらけの話  
前立腺がんのグレーゾーンの話  
ピロリ菌の話  
飛沫感染と空気感染の話  
など、いろいろな菌の話をクイズも使ったの楽しい講演でした。

14:30-14:45 休憩

14:45-15:15

デモンストレーション 学生役 村上宗隆 患者役 大川記代  
オスキーの時の注意事項を書面で欲しいとの意見が出ました。

15:15-16:00

ロールプレイ

6チームで5分間ずつ3回 OSCE の練習

○10月は12日・17日・20日と昭和大学で3回のズームで医療面接を行いました。SPは大学に出かけ教官の指導に従ってPCの画面で学生さんとの対面です。これで2年目の体験です。はじめ目線が合わずPCのカメラの位置がわからずちぐはぐでしたが何とかまとまりました。

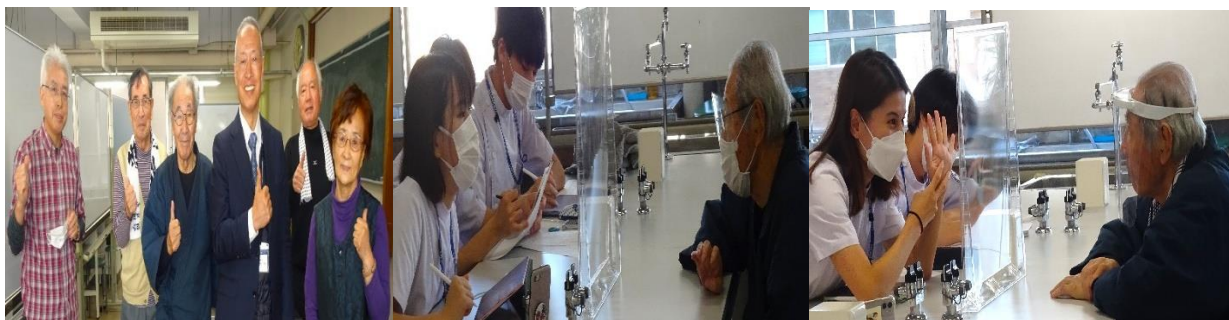


村上さんと学生さんとの面接 ベテランの田澤さん落ち着いています。石井さんカチカチに固まっています。

○10月20日(木)・21日(金)昭和大学で高齢者医療コミュニケーションが行われました



参加SPが会場に集合 女性組と男性組に分かれての面接です。実験室利用の3名の学生さんと教官による医療面接



昭和大の高宮先生から写真をいただきました。高齢者医療コミュニケーションの授業風景です。

○10月29日(土)医科歯科大学でのOSCEが行われました。10月14日に参加できなかった2名のSPを除いての12名での面接でした。



10月14日に金子先生から29日のOSCEの内容と標準化についての講義を受けました。本番は写真を撮ることでできませんでした。この14日の講義を受けた後、飯田橋のボランティアセンターで当会としての勉強会を行いました。10月の医療面接はこれでおしまい。

#### 会員のお知らせ

○鳴島睦子さんが眼科の手術をなさいましたが元気になりました。

○鈴木節子さんが体調を崩しました。11月はお休みするとのことです

○下杉先生がリュウマチになり、体全体が痛いそうです。お気の毒です。

○神永貞信・教子が10月14日に赤信号で止まっていたのに追突されました。何があるか分かりませんが、生まれて初めて警察の取調室へ行ったり、MRIを取ったりで本物の患者になりました。加齢による変化なのが事故によるものなのか判断が難しいとのことです。

文責 神永教子